



秋田県老連

2025
VOL. 198

令和7年1月6日発行
発行所 / 公益財団法人 秋田県老人クラブ連合会
秋田市旭北栄町1番5号
TEL 018 (864) 2723
FAX 018 (864) 2724
E-mail akirouku@akitakenrouren.jp
発行人 富樫俊悦 購読料/年間100円

メインテーマ **のばそう! 健康寿命、担おう! 地域づくりを**

- 会長新年挨拶 —— 2
- 東北ブロック老人クラブリーダー研修会 —— 3
- 第61回県老人クラブ大会 —— 4
- スポーツ大会結果・児玉長榮氏逝去 —— 6
- 能登半島地震災害救援拠金一覧・最終報告 —— 7
- 老ク傷害保険・賠償責任保険 —— 8



▲夕食懇親会余興 鹿角市老連 踊り「鹿角おやまこ」

東北ブロック老人クラブリーダー研修会

— 本県鹿角市に210名が参集 —

明日への

老人クラブ

秋田県老人クラブ連合会

会長 富 樫 俊 悦



この度、秋田県老連会長として、私たちを長年にわたり、ご指導して下さいました第九代会長児玉長榮氏の訃報にあたり、大きな牽引力を失いました。日頃から闊達で、弁舌爽やかに情熱をもって、私達会員を魅了したものでした。誠に残念な極みであります。

また、令和五年度に本県で開催された全国老人クラブ大会での挨拶は、聞く者をして圧巻したというところが、語り草になるほどでもありました。

私達は、これまでの数々の遺訓を忘れることなく、引き継いで参ります。ありがとうございます。

この度、後任会長として理事会において選出されました。まさに青天の霹靂で、予想もしないことであり、その重責を果たすことが

極めて自信はありませんが、奮い立って、責務に取り組みたいと念じたところであります。よろしくご指導、ご鞭撻くださいますようお願いいたします。

新年あけましておめでとうございませう。県内老人クラブの皆様、新年のお祝いを申し上げますと共に、本年もご健康に留意し、新鮮な感覚と行動力で老人クラブを押し上げ、地域貢献に取り組みましよう。

さて、苦渋しましたコロナ禍も終息傾向にあるとは言いながらも、未だに警戒を怠らない中での老人クラブ活動でありました。

こうした中で、昨年は節目となる記念事業として、県老連女性委員会が設立三十周年を迎えました。これは「ゆとり」と「うるおい」と「安らぎ」に満ちた心豊かな社会の実現ができないものか、私達は二十一世紀の爽やかな風になりたいと願い今日を標榜したものです。

この間、社会構造や私達の考え方など大きく変貌している中で、ひたすら人の温もりを信じて老人クラブ活動に思いを馳せながら、福祉・高齢社会の最先端の役割を三十年も前から実践しております。ことは、他に類を見ない団体が、老人クラブと認識しております。

反面、老人クラブの有り様が、社会の中でどのような位置づけや評

価がなされているものなのか、停滞しているもどかしさも、強く感じていることも事実であります。

私達は、老人クラブの存在意義や社会感を具体的な活動を通じて、明確に事業の社会性のアピールを強く発信していくこと、つまりは、一人よがりではなく、大いに外部発信することが、極めて重要な事ではないかと痛感しております。

さて、恒例となつております老人クラブ文化祭についても、従前の文化祭の意義や取り組みが一変しており、全てに人の心を持ち上げるテーマがあり、強く胸を打たれ、驚きと感動しきりでありました。しかも男性会員の参加が年々増加していることに、文化祭の不思議な人間心理の魅力を感じたところです。

私達老人クラブは、時流に乗ることの必要性なども、時には大事なことと強く認識しなければなりません。

社会では様々な情報を発信しておりますが、決して時流に乗り遅れることなく、積極的に機会を捉えて、豊富な知識と経験を有する者としての認識に立って、柔軟に取り組む必要が強調されます。

また、更なる効果や結果を示す必要が大切でもあります。私達は、厳しい社会情勢の中で、高齢者自身が高齢にわたつて築き上げてき

たものであります。これから歴史の新たな創造の中で、時代に添った老人像が確立できることを願う者です。

老人クラブの皆さん、大いに自信を持ちましょう。そして、前へ、前へ。本年もご多幸で、ご健勝でありますことをご祈念いたします。

謹賀新年

- | | |
|------|---------------|
| 名譽会長 | 和田 清恵 (秋田市) |
| 顧問 | 仲村 盛吉 (男鹿市) |
| 会長 | 富 樫 俊 悦 (大仙市) |
| 副会長 | 小林 一成 (能代市) |
| 同 | 小野崎 一哉 (由利町) |
| 同 | 松岡 時子 (北秋田市) |
| 同 | 戸嶋 正紀 (事務局長) |
| 同 | 佐藤 芳美 (鹿角市) |
| 同 | 多賀谷 正和 (大館市) |
| 同 | 山田 金成 (北秋田市) |
| 同 | 三輪 清美 (八峰町) |
| 同 | 江島 昭光 (男鹿市) |
| 同 | 工藤 強 (大湯村) |
| 同 | 伊東 弘榮 (仙北市) |
| 同 | 山田 松太郎 (横手市) |
| 同 | 佐藤 敬吉 (湯沢市) |
| 同 | 伊藤 彦雄 (羽後町) |
| 同 | 高橋 範夫 (横手市) |
| 同 | 柴田 恭一 (能代市) |
| 同 | 納谷 京子 (能代市) |
| 同 | 同 山 政美 (大仙市) |

【内 容】

- 基調報告「老人クラブの現状と課題」
全国老人クラブ連合会 岡本まゆみ
- グループ討議「老人クラブの未来をどう考える？」
- 事例発表
I. 「地域づくり協議会とともに」
秋田県鹿角市八幡平地区老人クラブ連合会
事務局長 阿部 祐治 氏
- II. 「伝承園活動を継承する土淵町老連の取り組みについて」
岩手県遠野市老人クラブ連合会会長 中浜 清輝 氏
- III. 「我がクラブの特徴ある活動について」
福島県福島市南向台むつみ会会長 松谷 要寿 氏
- 講 義「これからの老人クラブをみんなで考えよう！」
～「老人クラブ実態調査」を踏まえて～
青森県老人クラブ連合会常務理事・事務局長
全国老人クラブ連合会政策委員会幹事
五戸 秀樹 氏

本研修会は、毎年東北各県・指定都市が持ち回りで開催しており、六年度は本県が当番県として、去る七月十一日(木)、十二日(金)の二日間、鹿角市「ホテル鹿角」を会場に開催いたしました。当日は、本県参加者一七名を含め、二二〇名の参加者となりました。

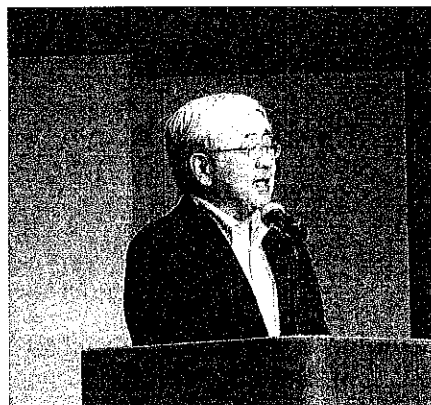
初日は、開会式のあと、全老連の基調報告に続き、各部屋へと移動し、グループ討議を行いました。二日目は、三県からの事例発表を行い、それぞれ特徴のある活動を紹介いただきました。最後に、令和五年度に全国の老人クラブで行った実態調査の結果を踏まえて、青森県老連五戸常務理事・事務局長から、老人クラブの現状と今後の進め方について、大変貴重なお話をいただき、全日程を終了いたしました。

東北ブロック
老人クラブリーダー研修会
秋田県鹿角市で開催

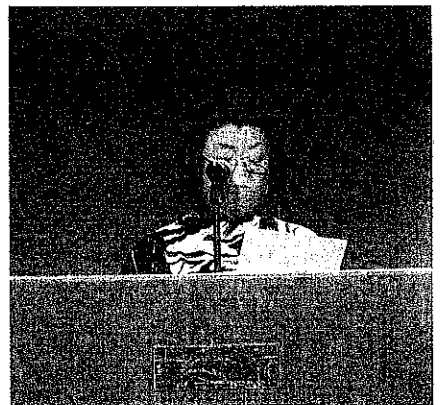
なお、令和七年度は、福島県磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」を会場に開催することが決まっています。老人クラブの学習に場はもとより、東北の仲間との交流の場として、どうぞ、多数ご参加いただきますようお願いいたします。



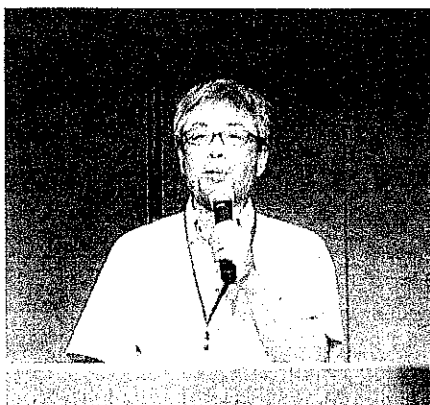
▲全老連基調報告



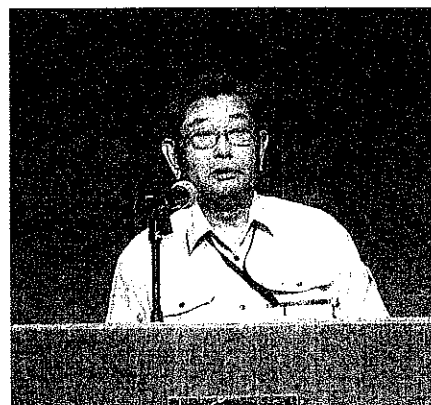
▲関鹿角市長祝辞



▲松岡全老連副会長挨拶



▲講義 青森県老連五戸常務理事



▲事例発表 阿部祐治氏(鹿角市)



▲グループ討議の一場面

第61回

秋田県老人クラブ大会

約六五〇名が参集

去る十月二十三日、「あきた芸術劇場ミルハス」大ホールにおいて、県内各市町村からクラブを代表する会員並びに福祉関係者、約六五〇名の参集のもと、第六十一回秋田県老人クラブ大会が行われました。

第一部では、「活動発表」を行い、左記の三名から、それぞれのクラブの特徴ある活動を紹介いただきました。

第1部「活動発表」

- 「活動趣旨の賛同は、地域奉仕より発信!!」
発表者：能代市 天内長寿会
会長 山崎 光男氏
- 「明るく楽しい老人クラブをめざして」
発表者：五城目町 希望ヶ丘老人クラブ
事務局・会計 永尾 聖子氏
- 「私達の老人クラブ活動」
発表者：美郷町 関田丸子会
会長 小西 文男氏

第二部式典では、富樫俊悦県

老連会長の挨拶に続き、神部秀行秋田県副知事からご挨拶をいただき、その後、表彰を行い、全国老人クラブ連合会活動賞(三クラブ)、秋田県知事表彰(個人十九名、七クラブ)、秋田県老人クラブ連合会会長表彰(個人二十六名、八クラブ)・活動賞(二クラブ)をそれぞれ授与いたしました。

次に、一円ポスト募金については、本年度、贈呈する団体がないことを報告しました。

なお、これまでの一円ポスト募金からの贈呈は、四十四の機関・団体へ七十回の贈呈、贈呈総額八、九〇〇円となっております。

次に、北林丈正秋田県議会議長、萱森真雄秋田県社会福祉協議会副会長からそれぞれご祝辞をいただき、最後に、松岡時子県老連副会長より、力強い大会宣言を満場一致で採択し、大会を終了いたしました。

活動発表



能代市 山崎氏



五城目町 永尾氏



美郷町 小西氏

大会宣言

少子高齢化・人口減少が急速に進み、全国に先駆けて本格的な超高齢社会を迎えている本県においては、誰もが住み慣れた地域で、生きがいをもって暮らし、共に支え合う「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められています。

そのような中、本年、孤独や孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会づくりを目指した「孤独・孤立対策推進法」と認知症の人が尊厳を保持しつつ、希望を持って地域で暮らすことを目指した「認知症基本法」が施行されました。

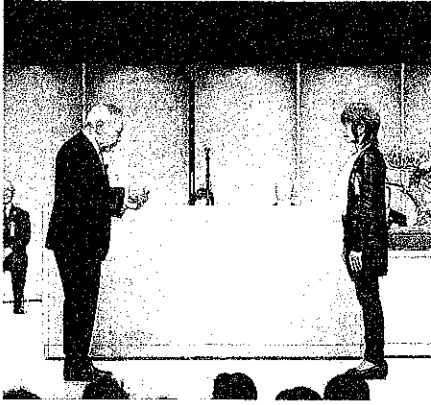
こうした社会目標は、私たち老人クラブの活動と軌を一にするものと言えます。振り返ると、私たちは、戦後一貫して地域での支え合いを主体的に行い、多彩な活動を展開して、時に喜びを分かち合い、時に災害など困難を共に乗り越えてきました。それゆえ、これまで取り組んできた仲間づくりや支え合いの活動実践に誇りを持ち、これを活かして、孤独・孤立の防止、認知症の正しい知識・理解の普及などに地域の関係団体等と連携・協働して、一層推進することに努めてまいります。

本日、ここに集う老人クラブ代表者は、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を、今後とも展開していくことを誓い、ここに宣言します。

- 一、健康長寿日本一をめざす「健康活動」の推進
- 一、暮らしを見守る「支え合い活動」の展開
- 一、高齢期を豊かにする「生きがい活動」の充実
- 一、あらゆる世代と連携した「地域貢献活動」の推進
- 一、すべての人々の尊厳が守られる「社会保障制度」の確立

令和6年10月23日

第61回秋田県老人クラブ大会



▲全老連活動賞(由利本荘市第4福寿会)



▲神部県副知事挨拶



▲富樫会長挨拶

全国老人クラブ連合会会長表彰

◆活動賞

五軒町寿会(由利本荘市)
岩谷麓寿会(由利本荘市)
第4福寿会(由利本荘市)

秋田県知事表彰

◆老人福祉功績者

堀江明夫(秋田市)
関光昭男(能代市)
山岡雄之(能代市)
長村昭雄(横手市)
木沼新一(横手市)
大藤健三(男鹿市)
齊藤ミ雄(湯沢市)
新山幸治(大仙市)
高嶋時子(北秋田市)
戸崎二治(大仙市)
松岡達一(小坂町)
高橋隆一(三種町)
藤田俊雄(三種町)
清水保雄(三種町)
眞川保雄(三種町)
高橋保雄(三種町)
安橋保雄(三種町)
高橋保雄(三種町)
優良老人クラブ

◆優良老人クラブ

茨島七丁目永寿会(秋田市)
土淵老人クラブ(横手市)
土川老人クラブ(大仙市)
川井寿生会(北秋田市)
下樋口老人クラブ五光会(五城目町)
三和会(大瀧村)
下開健康長寿会(羽後町)

秋田県老人クラブ連合会会長表彰

◆老人クラブ育成成功労者

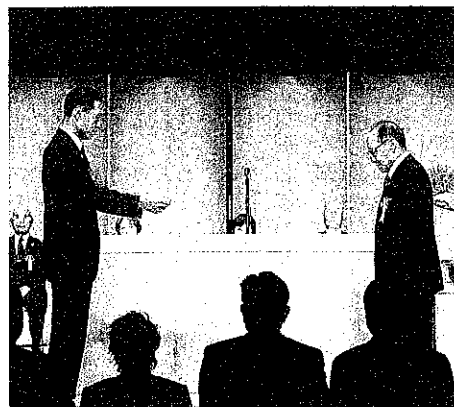
中田忍(能代市)
松嶋美保(能代市)
小棚純彦(横手市)
内藤武治(横手市)
佐藤鉄雄(男鹿市)
佐藤昭正(鹿角市)
三浦福信(由利本荘市)
鈴木昭夫(由利本荘市)
中村春雄(湯沢市)
加藤金一(湯沢市)
進藤剛雄(大仙市)
小林文治(大仙市)
大田鶴治(北秋田市)
新杉憲雄(北秋田市)
上木重雄(北秋田市)
鈴木脇重(北秋田市)
永尾聖子(五城目町)
村井イ子(八郎潟町)
勝田誠(井川町)

◆優良老人クラブ

豊内老人クラブ(横手市)
谷内老人クラブ(鹿角市)
第一栄寿会(由利本荘市)
中帳老人クラブ(由利本荘市)
楽野田仙寿会(大仙市)
上野田仙寿会(大仙市)



▲県老連会長表彰(能代市 中田氏)



▲県知事表彰(五城目町 高橋氏)

達子常楽会(三種町)
平の下・小野台老人クラブ(五城目町)
老人クラブ育成従事者
伊藤藤徳雄(五城目町)

秋田県老人クラブ連合会活動賞

◆仲間づくり活動

松森クラブ(北秋田市)

◆地域づくり活動

平沢老人クラブ(男鹿市)

第三十回「秋田県高齢者ペタンク親睦交流大会」
第三十七回「秋田県高齢者八人制バレーボール親睦交流大会」
第六回「秋田県高齢者グラウンド親睦交流大会」

県老連では、毎年、健康の保持・増進、介護予防に繋げ、あわせて県内愛好者との親睦と交流を目的に、「ペタンク・八人制バレーボール・グラウンドゴルフ」の三つの大会を実施しています。

幸い、コロナ禍であっても、中止することなく、これまで無事に開催することができましたが、会員の減少や高齢化など、参加者が減少傾向にあります。

健康づくり活動は、老人クラブ活動の中でも最も重要な活動の一つです。

一人でも多くの地域の高齢者の皆さんと共に、ペタンクやバレー、グラウンドゴルフを通じ、健康長寿を目指しましょう。

■第三十回秋田県高齢者ペタンク親睦交流大会

- 令和六年六月十二日(水)
- 潟上市長沼球技場
- 二十七チーム・八十九名

●優勝

秋田C・潟上市A・秋田D
 にかほB・秋田A



■第三十七回秋田県高齢者八人制バレーボール親睦交流大会

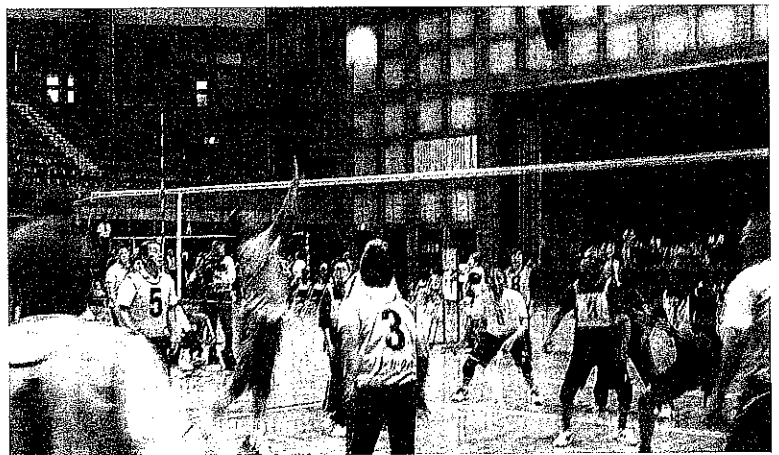
- 令和六年九月三日(火)
- 秋田市立体育館
- 男子十八・女子十四
- 計三十二チーム・三五七名

●優勝(男子)

大館男・小坂アカシア
 鷹巣同好会

●優勝(女子)

横手女子
 本荘バレーボール愛好会
 長野ソフトバレーボールクラブ



■第六回秋田県高齢者グラウンドゴルフ親睦交流大会

- 令和六年九月二十六日(木)
- 大仙市太田奥羽グラウンド
- 四十一チーム・一六四名

一、団体戦

●優勝 美郷町六郷(美郷町)
 ●準優勝 史跡の里せんぼく

二、個人戦

●第三位 八峰町老連(八峰町)
 ●優勝 三輪 清美(八峰町)
 ●準優勝 藤原 正夫(横手市)
 ●第三位 高田 重一(仙北市)

計報

本会会長児玉長榮氏におかれましては、令和六年九月二十六日ご逝去されました。享年九十一歳でした。

児玉氏は、平成二十三年に潟上市老連会長就任後、本会理事に、平成二十七年には本会副会長に、そして時代が令和にかわった五月に本会会長に就任されました。

また、令和六年には全国老人クラブ連合会副会長にも就任されました。

児玉会長は、会長就任の翌年から新型コロナウイルスの感染が拡大し、大変難しい状況の中、令和四年度の県老連創立六十周年の際は、記念史の発行や老人クラブの実態調査を推し進め、そして令和五年度、秋田市で開催された第五十二回全国老人クラブ大会では、秋田県の特徴ある大会として、この上ない高い評価をいただくなど、強いリーダーシップのもと、老人クラブの発展に大きく寄与されました。

これまでのご尽力に衷心より感謝申し上げます。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

「能登半島地震災害」救援拠金 納入一覧

最終報告

市町村 老連名	金額(円)	市町村 老連名	金額(円)
能 代 市	131,654	上小阿仁村	10,000
横 手 市	121,961	藤 里 町	72,200
大 館 市	100,000	三 種 町	62,300
男 鹿 市	15,000	八 峰 町	100,000
湯 沢 市	23,000	五城目町	91,100
鹿 角 市	70,000	八 郎 潟 町	16,000
由利本荘市	31,400	井 川 町	12,000
潟 上 市	382,295	大 潟 村	53,872
北秋田市	174,950	美 郷 町	30,000
にかほ市	45,200	東成瀬村	64,200
仙 北 市	105,300		
小 坂 町	74,000	合計	1,786,432

令和六年一月一日、石川県能登半島で最大震度七の激しい揺れを記録した地震は、その周辺地域で大きな被害をもたらし、一年を過ぎた今も不自由な生活を強いられています。

全国老人クラブ連合会は、このたびの地震災害に対し、全国の老人クラブに呼び掛け、救援拠金に取り組むこととなり、本会もその趣旨に賛同し、各市町村老連へ協力依頼をお

願いました。このたび、最終的な総額がまとまりましたので、ご報告いたします。取りまとめいただいた市町村、地区、単位老人クラブの皆様、ご協力いただきました会員皆様に紙面をお借りし、心より感謝と御礼を申し上げます。

なお、全国からの救援拠金は、下記の通り配分されましたので、あわせてご報告いたします。

「能登半島地震災害」救援拠金
一、七、八六、四三二円 集まる

「能登半島地震災害」救援拠金最終報告

2億1,540万円を被災県・市老連へ伝達

〈全国老人クラブ連合会報告〉

皆様にご協力いただきました「能登半島地震災害救援拠金」は、最終的に2億1,540万円となりました。全国からのご協力で深く感謝申し上げます。

5県・市老連に対する配分金は、第一次配分（1億3,000万円）も含み、別表のとおりとなります。

●救援拠金の配分について

救援金の配分は、被災された富山県、石川県、福井県、新潟県、新潟市の老連代表者を交えた「能登半島地震災害支援会議」において、それぞれの現状報告をもとに決定しています。10月末に行われた最終伝達では、9月21～23日に石川県能登地方に甚大な災害をもたらした豪雨災害による被害も踏まえて決定されました。

●救援拠金配分内訳

送金先	送金総額	第1次送金額	第2次送金額
富 山 県	21,930,000円	16,510,000円	5,420,000円
石 川 県	164,970,000円	92,040,000円	72,930,000円
福 井 県	690,000円	520,000円	170,000円
新 潟 県	6,910,000円	5,200,000円	1,710,000円
新 潟 市	20,900,000円	15,730,000円	5,170,000円
合 計	2億1,540万円	1億3,000万円	8,540万円

いきいき活動を支える 老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
- ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続きはできません。
- ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。
 〈資料請求受付期間〉【傷害保険】4月始期⇒1/4から2月末頃まで、10月始期⇒7/1から8月末頃まで
 【賠償責任保険】随時受付中

2024年10月始期 2025年4月始期版 老人クラブ 傷害保険 (掛金・補償内容)

自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)。
 一部のタイプでは他人の物を壊したり、
 他人にケガをさせた場合*1も対象となります。1人1口加入で年齢制限はありません
 (複数口加入はできません)。*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。

● 保険始期月 および保険期間	保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
	2024年10月	2024年7月15日～9月15日まで	2024年10月1日午後4時から1年間
	2025年4月	2025年1月15日～3月15日まで	2025年4月1日午後4時から1年間

● 掛金タイプと補償内容
 【クラブ活動中とは】 所属する単位老人クラブがあらかじめ計画・実施する活動、市区町村(地区・校区)から全国までの各老連が主催する活動イベント、老人クラブ関係者として他団体の活動への参加(往復途上を含む)

補償内容 (保険金額)	タイプ	24時間型				活動型	
		掛金 (1人あたり)	12,000円/年	8,000円/年	5,000円/年	3,500円/年	1,000円/年
死亡保険金		430万円 (260万円)	320万円 (235万円)	283万円 (198万円)	195万円 (150万円)	85万円	45万円
後遺障害保険金		170万円 (-)	85万円 (-)	85万円 (-)	45万円 (-)	85万円	45万円
入院保険金日額 1事故につき30日限度		6,600円 (2,600円)	3,600円 (1,600円)	3,600円 (1,600円)	2,200円 (1,200円)	2,000円	1,000円
通院保険金日額 1事故につき30日限度		4,100円 (1,500円)	2,100円 (800円)	2,100円 (800円)	1,250円 (600円)	1,300円	650円

- 8,000円タイプには「個人賠償責任補償」(1億円限度)、「地震・噴火・津波補償」の特約が付いています。
- 12,000円タイプには「個人賠償責任補償」(1億円限度)、「地震・噴火・津波補償」、「熱中症補償」の特約が付いています。

老人クラブ 賠償責任保険 (掛金・補償内容)

他人の物を壊したり、ケガをさせた時*1の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対象：単位老人クラブ(全員加入が条件となります) ② 保険期間：毎年10月から1年間(中途加入可)
- ③ 掛金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円) ④ 補償：支払限度額1億円

*1 法律上の賠償責任が伴う老人クラブ活動中の対人・対物事故が対象です。往復途上は対象外。

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

加入申込み等 資料請求先 専用FAX 03-3597-8767 お問い合わせ先 03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> メールアドレス hoken@senior-ltd.com

〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768
 〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。
 【老人クラブ傷害保険】老人クラブ団体傷害保険特約付傷害保険・総合生活保険(傷害補償)
 【老人クラブ賠償責任保険】施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険
 ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。
 2024年2月作成 23TC-008004